

新学校給食センター建設工事基本設計に関する説明会 報告

第1回 日時：平成26年3月23日（日）午前10時～11時20分

〔 10時～10時20分 あいさつ・職員紹介・説明
10時20分～11時20分 質疑応答

場所：桜が丘市民センター 集会室

市側出席者：教育長、学校教育部長、建築課長、給食課計画担当主査
4名

参加者：4名

第2回 日時：平成26年3月27日（木）午後7時～7時50分

〔 7時～7時20分 あいさつ・職員紹介・説明
7時20分～7時50分 質疑応答

場所：南街公民館 202学習室

市側出席者：教育長、建築課長、建築課建築係長、給食課長、
給食課計画担当主査 5名

参加者：9名

※ 基本設計として、部屋の配置など大まかなプランを説明した。平成26年度に基本設計に基づき、具体的な資材料等の積算や、厨房設備・換気・空調等機械の選定をするなど実施設計を行う。

質問・意見（要旨） （⇒ は市回答）

第1回

基本設計の内容について

- ドックシェルターとは何か。 ⇒給食を配送・回収するトラック後ろの荷台と施設の入り口の間、シャッターの外側にラバーのようなものをつけて、搬出入口とトラックとの間の隙間をふさぐものである。配送・回収の計6か所の出入口全てに設置する。
- 今の給食センターが狭いためにできないことについて、新しい給食センターではクリアできるのか。 ⇒個々食器の導入など、課題となっていることはクリアできる。限られた敷地の中で最大限目指しているものを作ると言うことで取り組んでいる。

臭いについて

- 排気口はどこにあるか。 ⇒一般的に排気は外壁から出すことが多いが、こ

の施設では環境に配慮し屋上から排気する。正式な場所は今後の実施設計で決定していく。

- 臭気を取る機械は何を使用するのか。メーカー・型番を教えてください。 ⇒ 除外施設には脱臭設備を設ける計画である。実施設計で除外設備等について選定するので現在は未定である。決定したら市のホームページ等で周知したい。
- 臭気は完全に防御できるのか。 ⇒ 100%防ぐことはできないが、できるだけ環境に配慮したものとして計画していく。
- 生ごみの処理について、マンションではディスポーザーがあり生ごみは出さず、臭いを出さないようにしているが、給食センターでも同様にできるのか。
⇒ 給食センターで取り扱う生ごみは量が多いため、すべてをディスポーザーで砕いてそのまま下水に流すことは考えていない。生ごみは厨芥処理室で処理し、直接外には出さない。調理過程で出た野菜くず・食べ残しもディスポーザー的なもので細かく砕いて専用の管で厨芥処理室に送り、脱水して嵩を減らし、個体はビニール袋に入れて密封し専門業者に回収してもらう。脱水して出た液体は、配管により地下の除害施設に送られ、水質基準以下にして下水に排水する。生ごみ回収の運営については今後決定していくが、基本設計の段階では施設内に長く生ごみを留め置かない形がよいと考えている。
- 建物の気密性はどうなっているか。危険な物質をきちんと遮断した安全な施設であるとアピールした方がいい。 ⇒ 給食を作る部分は外気に触れず、また外気に漏れない構造を心がけている。具体的には、ドックシェルターの設置、扉を二重にして外気に接しない構造としている。エアシャワーも設置するので衛生面に配慮した構造としている。給食センターから外へ危険な物質を出すことはない（記録をまとめた際に下線部を追加しました）。
- エアコンの外気を取り入れる時に、周辺の危険な物質が給食センター内に入ることはないのか。 ⇒ 周辺の施設等も給食センター同様、環境に関する法令等を順守し、危険な物質を発生させることはないと認識している。給食センターの空調設備の給気口には昆虫等の流入を防ぐため、フィルター等を設ける（記録をまとめた際に下線部を追加しました）。
- 環境の安全性に関して、市の見解と異なる意見を言う学者もいる。設計段階で学者の意見も聞いて対策をして欲しい。

交通について

- 給食センターへの車の出入りは、1日何台くらいか。 ⇒ 1日合計20台程度である。朝8時頃に食材の納品車が集中し、6～7台程度来る。8時以降に荷受け作業を開始すると、荷受口が2か所あるので、車の集中は解消する。

- 給食センターの待機車はセンター敷地内に入るのか。 ⇒食材納入業者の車が市道1491号線に並ばないように、センター敷地内で待機してもらう。
- 給食配送車は何台なのか。 ⇒配送は民間委託しており、現在は2つのセンター合せて4台ある。1台の配送車が2、3回往復して各学校へ配送している。新学校給食センターの配送車配置台数は受託した業者が決めることであるが、少なくとも4台となる見通しである。ただし個々食器を導入し食器点数が増えるため、その分往復回数が増えることは見込んでいる。配送時間帯としては11時頃から3時過ぎまでである。
- 給食センターへの車の出入りや交通量について、隣に建つパチンコ店と調整はしているのか。 ⇒パチンコ店と打合わせは持っていない。工事中及び給食センター稼働後の交通状況について、今後警察署と調整をしていきたい。
- 食材納入業者が給食センターへ来る道を決めているのか。 ⇒現段階では決めていない。
- 桜街道の渋滞を防ぐため、給食センターへ来る車・給食配送車について、どの道を通るか指導してもらいたい。
- 市道2号線は、車も自転車もマナーの悪い人がいて通学時の事故が心配であり、朝の時間帯に現場を直接見てもらいたい。警察と十分に調整してもらいたい。
- 市道2号線と1491号線の交差点は事故が多いと心配の声がある。この交差点に給食センターで警備員を置いてもらいたいくらいである。 ⇒建設工事中・稼働後の交通安全については、今後必要な時期に必要な調整をしていきたい。
- 大型商業施設等が近くにあるという特殊な立地であることを理解しないといけない。 ⇒本日は建物に関する説明を中心に考えていたが、近隣のことも目配りが必要であるとのことご意見をいただいたので、安全で安心な給食を作るという基本姿勢を持ちながら、今後も努力していきたい。警察署とも調整していきたい。

その他

- この説明会の会議録は残るか。 ⇒これまでの説明会同様、要旨をまとめ文書として保存する。文書は情報公開の対象となるが、情報公開を求められる前に、市としてホームページに掲載し公表している。また以前の説明会で出された意見・要望を反映し、新たな資料をホームページに掲載したこともある。
- 録音記録を、今後新学校給食センターができてから1年程度保存してもらえるか。 ⇒手書きのメモや記録は途中経過であって補足的なものとしてとらえており、文書となった時点で役割は終わる。市として文書を開示していく

姿勢には変わりはない。市全体の文書の扱いや説明会開催の方法と合せて、教育委員会としても整合性を図っていきたい。

- 基本設計は見直すことはあるのか。また説明会を行うのか。⇒意見は実施設計に反映したい。今後は、工事着工前に説明会を開催する予定である。
- 市民からの意見をちゃんと反映するのか。意見に対してその後どうしたのか、次の会議等で説明してもらいたい。⇒新学校給食センターについては、土地選定の段階から説明会を開いてきた。いただいたご意見・ご要望については、反映できることとできないことがある。敷地面積等については反映してきた経緯がある。さまざまな条件があるため、軽々に反映できるとは言えないが、今後でもできることについては反映したい。
- 児童数の少ない小学校を統合して、跡地に給食センターを建てたらどうか。地目は変更すればよい。
- 給食の安全性は確保してほしい。⇒安全・安心な給食を提供したいというところが基本であり出発点である。そこはくずさないようにしていく。
- 他で見られない施設にせず、スタンダードなものでよい。低い予算で他で見られない施設ができるのか。⇒市民の願いを込めた計画を作り基本設計までできた。予算的なものも今後の実施設計において詰めていき、貴重な財源を有効に活用して施設を造りたい。

給食センターに直接関連しない意見

- 市全体の街づくりの問題として、この地域に複数の開発がいろいろ集中しているのはおかしい。お互いの施設で話し合い確認しあうことが必要である。住民をおきざりにせず慎重にしてほしい。⇒給食センターについては、工業地域へ立地できることが原則となっている。桜が丘市民広場利用者の方々のご理解により、給食センターの敷地をできるだけ小さくして、この用地に建設することとなった。
- 中小企業大は撤退することはあるのか。もし撤退してしまったら、空き地に何ができるか戦々恐々として暮らさなければならない。⇒中小企業大は国の施設であるが、市では把握していない。
- 市は、無理な場所に無理なものを盛り込んでいる施設ばかり作ろうとしている。
- 市は何でも喫緊の課題というが、喫緊の課題となったのは、市民の責任ではなくて市の責任である。

第2回

基本設計の内容について

- 2階洗米室への入室経路はどこか。⇒洗米室から炊飯室へは機械で自動的

に米が移動する仕組みであり、日常的に洗米室と炊飯室を調理員が移動することはない。メンテナンス時には炊飯室から入る（記録をまとめた際に下線部を追加しました）。

- 職員はどこで食事をするのか。 ⇒会議室・食堂である。
- 学校給食衛生管理基準では、トイレは食品を取り扱う場所から3 m以上離れた場所に設けるよう努めること、とあるがよいのか。 ⇒保健所からは現段階で指摘を受けていないが、今後確認したい。

騒音について

- 室外機置場が屋上の北側になっている。北側に住宅があるのになぜ北側にしたのか。目隠しフェンスではなく防音用のフェンスなどを設置してはどうか。 ⇒室外機等について低騒音型の機器を選定するようにしたい。そのうえで、パネルで囲うことについて今後検討したい。

交通について

- 市道1491号線沿いは子供の通学路となっているが、給食センター敷地へ車が出入りする際に回転したり音が出るような警告灯をつけることを検討して欲しい。 ⇒基本設計ではそこまで計画していないが、今後できるかどうかを含めて検討したい。朝8時前後に食材納入業者の車が6、7台程度集中する。混む時間帯は、南の敷地出入口から入り、給食センター敷地内で待機してもらい、市道1491号線の渋滞や死角を作らないようにする。また、市道1491号線沿いは現在東の中小企業大学校側のみに歩道がある。第二小学校では歩道がある道を通るよう指導しているとのことである。新学校給食センターができるとセンター側にも歩道が出来るが、例えば中小企業大学校側を通るよう指導してもらおうなど今後学校や保護者と調整を図っていききたい。
- 給食を配送するトラックは何台か。 ⇒現在4台なので、最低4台は必要であると考えている。4台で15校分を配送するので1台が2、3回往復する。午前中に給食や食器を配送し、午後はそれらを回収するので往復回数はその倍となる。
- 近隣に大型商業施設があるため、市道2号線がさらに混むことが心配である。 ⇒周辺の建物状況、混み具合について、具体的な方策を今ここでお示しすることはできないが、今後警察署とも相談・調整していきたい。
- 交通量が増え、自転車歩道を走ると、子供たちをはじめ、歩行者に危険である。自転車が歩道を走らないような対策は考えられないか。 ⇒給食センターとして何ができるかわからないが、ご意見として伺う。

その他

- 実施設計の発注は入札で行うのか随意契約で行うのか。 ⇒どのような方法

で選定するかは確定していない。

- 厨房機器の選定は設計業者に任せるのか、市がプロポーザルにより行うのか。
⇒厨房機器については、工事に含めて発注するかどうか、工事をどのように区分して発注するかについても今後決定していく。
- 予算について、東大和市学校給食基本計画では25億円とあるが、基本設計でいくらくらいになるのか。⇒東大和市学校給食基本計画に掲載した金額は工事以外の経費も含んでいる。これから実施設計において積算するが、おそらく工事費は20億円を超えるかと思う。
- 工事着工前に説明会を開いてもらえるのか。近隣住民との打ち合わせの機会を持ってほしい。⇒工事の前に説明会を開催する予定である。
- 工事車両はどちら側から敷地に入るのか。どのくらいの車両が行き来するか。⇒工事が始まる前の説明会であらためて説明する予定である。
- 今後児童・生徒数が減った場合に、給食センターで高齢者へ食事を提供することなど想定しているのか。⇒学校給食を作る施設の中で児童・生徒以外の食事を、一つの空間で合わせて作るのは難しいと認識している。東大和市学校給食基本計画 p 30 に平成44年度までの児童・生徒数の将来推計を掲載している。あくまでも推計ではあるが、平成44年度までにそれほど減らないと見込んでいる。